

☆学習指導

- ・学習に関しては、児童・保護者ともに高評価でした。「困ったときや分からないときにペアやグループの友だちにたずねることができる」と回答した児童は90%以上で、学校全体で「学びあいの授業」において大切にしてきた児童の学習意欲を引き出す課題の設定や教材研究の成果であることを確認し、今後も引き続き子どもたちが主体的に学習できるように取り組んでいきます。
- ・読書については、「意欲的に読書に取り組んでいる」児童が80%で、昨年度より6%減少しました。保護者も家庭での読書時間の確保ができていないことを感じています。放課後の過ごし方として、習い事やテレビ・ゲームに費やす時間の多さが背景にあるようにも考えられます。今年度は、読書の意欲づけをするために学期ごとに「読書週間」「図書館祭り」「朝読」という期間を設け、「絵本劇」「担任・委員会児童による読み聞かせ」「読書スタンプラリー」「読書パズル」、図書館司書による「ブックバイキング」「季節に応じたおすすめ本コーナー」「ブックトーク」「大型絵本読み聞かせ」、読み聞かせ支援員による「各クラスでの読み聞かせ」や「ブックトーク」、「家庭読書タイム」等多数取組みました。また、図書館ボランティアさんにも季節にあわせた読書環境整備をしていただきました。これからも学校では、読書意欲を高める様々な取組をすることで、今後とも家庭と連携しながら読書好きな児童を育てていきたいと考えています。

☆生活指導・心の教育

- ・「学校に楽しく通えている」との回答が保護者や児童ともに95%以上となっています。また、ほぼ全児童が「いじめはいけない」、「友だちの嫌がることをしないで仲良くできている」と答えています。昨年度同様いじめアンケートやQU調査、教育相談の実施、日記や子どもの様子の観察等ふだんから子どもの様子を把握し、子どもの困り感の早期発見早期解決に努めています。「相談できる人がいる」95%の児童が身近に相談のできる人がいると回答しています。このことは困り感の早期解決や気持ちの安定につながっていると言えます。反面、少数の児童は楽しく学校に来ることができていない、相談できる人がいないということでもあります。保護者や地域の方々と連携しながら、児童も保護者の方々と安心できる学校づくりをめざします。
- ・「将来の夢や目標をもっている」と答えた児童が94%。年々、将来の夢や目標を持っている児童が増えてきています。自己肯定感の高い児童が増えてきているとも言えます。家庭や地域と連携しながら子どもたちの心の教育を深めていきたいと考えます。
- ・「あいさつ」を91%の児童が「している」と答えています。また、保護者や地域の方からもあいさつできるようになってきたという声がかかります。今年度も、「あいさつチェックシート」に取り組み「あいさつ標語」作りをし、児童会が中心となったあいさつ運動を行う等、子どもたちのあいさつへの意識を高めてきました。今後とも子ども自らあいさつしようとする意識を高めていきます。また、特別な取組をするのではなく、身近にいる私たち大人から進んで挨拶をすることで、子どもたちにあいさつする習慣を身につけさせていきたいと考えていますので、ご家庭でも家族や近所の方にあいさつをするなど、引き続きご協力をお願いいたします。

☆健康・安全指導

- ・今年度も体力テストや交通安全教室、防災訓練、防災教室、歯磨き週間、朝のかけ足、保健だよりでの児童の様子や実態発信等に取り組みました。保護者の方には健康や安全についての指導が昨年度同様引き続き行われていると高評価をいただきました。
- ・「進んで外で遊んでいる」と答えた児童が、81%と昨年度より増えました。「三重北遊ビディ」を毎週行った取組で外遊びの習慣が身に付き始めている一方で、2割ほどの児童はまだまだ習慣化していないと言えるため、外遊び充実に向けてさらなる取組の強化が必要と考えます。